

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ご利用様の重度化が進んでいること、伴い一緒に食事の準備や後片付けを行うことが難しく、介助中心である現状はあるものの、いつしか、その“介助”意識が高まり、また専念しすぎていた。	今一度、食事を“楽しめる”雰囲気でご利用者様にも、ひとときをお過ごし頂けることを目指したい。	介助そのものも大切ではあるが、視野を意識的にも広げ、言葉かけを増やしながら(献立内容・味付け・時に季節感等)楽しんで頂ける雰囲気を、職員から率先し作っていきたい。	1～3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針と共有の支援について、現在も法人本部と協議し体制の強化を進めているが、看取り実例が無いことや、どれだけご本人様・ご家族様の想いに沿えるのか、課題がある。	重度化や終末期に向けた方針を職員間で共有できること、支援へと結び付いている。	当ホームの母体となる医院との連携は基より、看護職員と介護職員で左記項目につき共通認識を図ること。 どこまで対応できるのか、更に何が必要なのかを全体会議等で詰めていく。	6～9ヶ月
3	55	ひとりひとりの「できること」「わかること」が見出されていない部分もあるのでは、またそれらを職員が把握していても、業務の多忙さに追われ活かしきれていない現実もあるので、はと職員会議で議案となっている。	ご利用者様おひとりおひとりのご状態に応じた支援が提供を目指すことで、今一度普段行っているサービス提供を見直すことができ、ご利用者様と(特に担当職員との)関係性も深められたら良い。	ご利用者様の各担当職員がアセスメントを通じて、今一度具体的なサービス提供方法につき職員間へ伝達し共有を図る。 特に重点化したい項目へ絞り込み、実感性のある取り組みを行いたい。	3～6ヶ月
4	42	口腔内の清潔保持として、食後の口腔ケア実施と、変化時における歯科受診(ご家族様の協力を得ながら)により支援しているが、口腔ケアの重要性を再認識してケアを実施できるよう取り組みたい。	口腔内トラブルによる影響、ケアの重要性を職員が再認識・共通理解できることで、ご利用者様へより良いケアのひとつとなる。	この度、法人内に2名の歯科衛生士が就業する運びとなったので、当ホームでの訪問指導を依頼し、学ぶ機会を持つ。 継続的に連携を図っていききたいと考える。	1～3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。